MUSEUM NEWS

2024.4 ► 2024.6

アブソリュート・チェアーズ

とき・2/17(土)～5/12(日)

ところ・2階展示室

内容・私たちの身近な存在である椅子は、権威の象徴として、記憶の依り代として、あるいは拡張された身体として、様々な意味や象徴性をまとっています。アーティストたちは椅子がもつ意味をとらえ、作品を通じて社会の不和や矛盾、個人的な記憶や他者との関係性などを浮かび上がらせてきました。本展覧会では、椅子をめぐる国内外の平面・立体・映像作品83点を紹介し、現代美術のなかの椅子の機能や含意を読み解きます。

観覧料・一般1300円(1040円)、大高生1040円(830円)

※ ( )内は20名以上の団体料金

※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

※ 企画展観覧券(ぐるっとパスを除く)をお持ちの方は、併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○檜皮一彦(本展出品作家)ワークショップ「walkingpractice」

とき・4/21(日)

※事前申込制。内容や時間、申込方法等の詳細はホームページをご覧ください。

○担当学芸員によるギャラリートーク

とき・4/13(土)15:00から30分程度

ところ・2階展示室／**費用**:企画展観覧料が必要です。

アンナ・ハルプリン《シニアズ・ロッキング》2005/2010年
©Courtesy of ZAS Film AG

MOMAS コレクション（収蔵品展）

とき・3/2(土)～6/2(日)

※ 会期中、一部作品の展示替えがあります。
前期:4/14(日)まで／後期:4/16(火)から

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ( )内は20名以上の団体料金

※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

※ 5/29(水)～6/2(日)は、埼玉県美術展覧会(県展)開催中のため半額

◇セレクション　誰かの気配

ユトリロ ほか

◇チェアーズ
―椅子の美術館

当館が所蔵するデザイン椅子を一挙公開。「椅子の美術館」としての歩みをたどりながらお楽しみください。

◇さいきんのたまもの

田中保や正木隆の絵画など、近年新たに収蔵した作品を紹介します。

田中保《膝をつく裸婦》1920年頃

《関連イベント》

○コレクション・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。

とき・5/26(日)15:00～15:30

担当学芸員・鴫原悠

作品・ヘリット・トーマス・リートフェルト《レッド・アンド・ブルー》デザイン・製品化:1918年

【広報紙ZOCALOのリニューアルについて】

現在、隔月で年6回発行している広報紙ZOCALOは次号より年4回の季刊発行となります。紙面を大きくすることで、これまでと同様に当館の情報を皆様にお届けいたします。次号、6月上旬に発行予定の7-9月号をお楽しみに！！

とき・6/8(土)～8/25(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※ ( )内は20名以上の団体料金

※ 中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

※ 6/8(土)～6/20(木)は、埼玉県美術展覧会(県展)開催中のため半額

◇セレクション

ピカソ ほか

◇シュルレアリスム宣言100周年

夢や無意識といったキーワードをもとに、シュルレ　アリスムの世界へ誘います。

ジャン・アルプ《バラを食べるもの》1963年

《関連イベント》

○コレクション・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。

※ 6月中に実施予定です。日程が決まり次第、ホームページでお知らせします。

アート体感ワークショップ

MOMAS のとびら

フリープログラム以外は、全プログラム事前予約制です。
当館ホームページからお申込みください。

《5月のプログラム》

5月分のお申込みを4/1(月)から受け付けます。

○フリープログラム　※事前申込み不要

とき・5/4(土)10:30～12:00、13:30～15:00

対象・どなたでも／**費用**・無料

○彫刻あらいぐま

とき・5/11(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生＋保護者／**費用**・無料

○みる＋つくる

とき・5/18(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生／**費用**・無料

《6月のプログラム》

6月分のお申込みを5/1(水)から受け付けます。

○み～っけ

とき・6/1(土)、29日(土) 各13:30～15:00

対象・未就学児(4～6歳)＋保護者／**費用**・無料

○みる＋つくる

とき・6/22(土) 13:30～15:00

対象・小・中学生／**費用**・無料

《7月のプログラム》

7月分のお申込みを6/1(土)から受け付けます。

○工房

とき・7/6(土)、20日(土) 各13:30～15:00

対象・小学生～大人／**費用**・500円

※ 開催日が複数あるプログラム(5/18と6/22の「みる＋つくる」を含む)は、いずれも同じ内容を実施します。複数の実施日にお申込みいただいても構いませんが、ご参加いただくのはそのうち1日のみとさせていただきます。また、応募が定員以上の場合は抽選とさせていただきます。ご了承ください。

※ 各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ
https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら

一般展示室（地階）

※ 日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

※ 展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆4/2(火)～4/7(日)

第13回五彩展 …… 一般展示室3

apipoのペン画展(滝沢 天利個展) …… 一般展示室4

◆4/9(火)～4/14(日)

第52回主体美術武蔵野作家展 …… 一般展示室2・3

第39回渓水会展 …… 一般展示室4

◆4/16(火)～4/21(日)

第18回フォト・トルトゥーガ写真展 …… 一般展示室2

群炎埼玉支部展 …… 一般展示室3

◆4/16(火)～4/28(日)

ヨシズミトシオ展 …… 一般展示室4

◆4/23(火)～4/28(日)

第9回栗田ひさし・梨伽絵画二人展 …… 一般展示室3

◆4/25(木)～4/28(日)

第47回女流工芸展in埼玉 …… 一般展示室1

◆4/30(火)～5/5(日)

第27回埼玉二科展 …… 一般展示室1～4

◆5/29(水)～6/20(木)

第72回埼玉県美術展覧会(県展) …… 一般展示室1～4

さいたま国際芸術祭をみて

昨年11月にさいたま国際芸術祭2023へと足を運んできました。さいたま国際芸術祭とは、さいたま市で2016年に始まった市民参加型の芸術の祭典です。第3回目となる今回は現代アートチームの目[mé]がディレクターを務め、「わたしたち」というテーマのもと、張り巡らされた「導線」によって私たちが無意識に行う「見る」という行為を再認識させる展覧会が話題になりました。当館も、同時期に開催した展覧会を連携プロジェクトとするかたちで芸術祭に参加しました。

私が芸術祭を訪れた日は、芸術祭のメイン会場である旧市民会館おおみやにて、ダンサー兼演出家の倉田翠さんによるダンス作品『指揮者が出てきたら拍手をしてください』の公演がありました。倉田さんが演出するダンス作品には、プロのダンサーではない人物が演者として登場するという大きな特徴があります。本公演においても、「かつてバレエをやっていた(やめた)」ことを条件に一般の人から出演者を公募し、オーディションを経て、バレエに対してさまざまな想いを抱えた10代～50代の18名が最終的に集まったようです。

公演が始まり、「指揮者」と思わしき人物(ハラサオリさん)が舞台上に登場すると同時に、天井付近に設置されたモニターには「拍手をしてください」という言葉が表示されました。観客はモニターに現れた指示に従うように舞台の演者へと拍手を送ります。最初に現れたダンサーは不動産勤務だという女性。彼女は自身の平日の仕事のスケジュールについて自身の言葉で説明したあと、舞台に上がりバレエを踊りました。踊り終えると「仕事に戻ってください」という指示がモニターに表示され、その通りに舞台を去っていきます。そのようにして、獣医師を目指してバレエを辞めたという女性や、雑誌のインタビュアーを仕事とする女性、25歳までバレエを手放せなかった男性・・・など18名の元バレエダンサーが次々と舞台に上がり、ときに一緒に踊りながら、舞台を降りていきました。

観客は、台詞やモニターの表示を通して語られる彼・彼女らの人生と、ダンスを通して目の当たりにする各々の身体に刻まれたバレエの記憶を交互に知ることとなります。舞台のラストパートで18人が一斉に踊る場面は、プロによる洗練された踊りとは程遠いものでしたが、これまでのバレエの鍛錬によってつくられた身体と、これから続いていくバレエのない人生が混ざりあったダンスなのだと気づき、不思議と涙が出そうになってしまいました。

また、この舞台には「指揮者」のような存在が複数存在していたのではないかと思います。その一人は演者とともに舞台に上がり、寄り添って踊ったり無関係に動いたりしながら、テンポを引っ張っていたダンサーのハラさん。あるいは演出・構成を担う倉田さんも紛れもなく指揮者だと言えるでしょう。そしてまた、天井付近に設置され、演者について説明を加えるとともに演者や観客に命令を出していたモニターもそうです。

それらはすべて、自らを動かす原動力にも、自らを縛る鎖にもなりうるものです。元ダンサーたちにとって「バレエ」そのものが、そんな指揮者のように感じられる存在だったのかもしれません。ですが、誰の指示がなくとも公演の最後にはカーテンコールが鳴り響いていたように、たとえ「指揮者」や「バレエ」の存在がなくとも、ただ続いてゆくそれぞれのかけがえのない人生へ拍手を送ることができるのだと思います。さいたま国際芸術祭のテーマである「わたしたち」に重なるように、倉田さんの作品からは舞台の外へと無限に広がっている私たち一人ひとりの人生を見つめ肯定してゆく力強さがありました。私もその一人として、元バレエダンサーたちの舞台に向かって大きく手を叩いていました。
(M.R.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

美しいデザインチェアと、それを引き立てる空間。実は紙でできており、福永紙工とデザイナー安積朋子さんとの協働プロジェクトです。16分の1スケールの名作チェアたちと、それが生まれた背景のインテリアをご自身で組み立ててお楽しみください。イギリスの多くのミュージアムショップでも展開されているそうです。税込1182円、別売の専用ケースは税込2200円。5月12日まで販売予定です。

※　本紙記載の展覧会やイベントは、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111　**FAX**・048-824-0119　**代表メール**・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00～17:30（展示室への入場は 17:00 まで）
休館日・月曜日(4/29、5/6は開館)、5/21～5/24、6/25～6/28
入館料・無料　**観覧料**・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります。
※お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。

美術館ホームページ

彩の国 埼玉県
©埼玉県2005
JR
モバイルSuica
いつでもどこでもカンタン便利！
定期券を買うなら、モバイルSuicaで！

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・大越久子／佐藤美絵　**原稿執筆**・(S.Aya.) 佐伯綾希 /(S.Ayu.) 佐藤あゆか /(M.R.) 松江李穂　**広報協力**・JR 東日本大宮支社